

聖使命会費取扱者となって、“すべての人々を幸福に導く聖使命会”に縁ある方々をおつなげしましょう！



聖使命よろこびの集い

〈取扱者研修会〉



日 時：令和8年 **7** 月 **6** 日（月）9:55～11:40

開催形態：生長の家千葉県教化部（大拝殿）で開催
Zoomによる配信も行います。
ZoomID：851 7046 5395 パスワード：0531

講 話：小池 聖明 教化部長

テキスト：『新版 菩薩は何を為すべきか』
誌友会のためのブックレットシリーズ4
『戦後の運動の変化について』

参加対象：聖使命会費取扱者

奉 納 金：300円以上随意（昼食代込み）

「聖使命会員となるよろこび」

宗教というものは、決して病気治しや個人の繁栄^{はんえい}のために利用されるべきものではありません。ただ本当のおかげがあらわれるのは、まごころの信仰と報恩感謝の心があらわれたとき、その付属^{ふぞく}として付け加えられたものであって丁度人間^{ちやうど}の影が地上にうつっているような、そういう影^{かげ}に他ならないのであります。ですから信仰を手段として利用して、安あがりのおかげをつかみ病気などを治してもらおうとか、少しだけ寄附^{きふ}をして置いて大いに事業を発展させてもらおうとかと、さもしい事を考えることは全く間違っているのであります。私達の寄附^{きふ}や献金^{けんきん}は、そのようなこととは全然ことなるところの純粋な菩薩行^{じゆんすい ぼさつぎやう}であり、一人でも多くの人々を救いたいという慈悲^{じひ}の発露^{はつろ}でありますから、そこに自^{おのず}からその功德^{くどく}はあまねくゆきわたらざるところなく、一門家族^{あくごう}の悪業すらも光^おに遭^{くらやみ}うた暗闇^{しょうめつ}のように消滅してしまうのであります。（後略）

『新版 菩薩は何を為すべきか』谷口雅春先生著・谷口清超先生著 128頁より

〈主なプログラム〉

- ・「聖使命会費取扱者としての喜び」（事例発表）…… 相愛会・白鳩会
- ・聖使命会員の喜びの輪を広げよう（国際平和信仰運動の理解を深めよう）
相愛会／安達敏広 連合会長
白鳩会／安達由紀子 連合会長
- ・講話「地球社会を生きる菩薩の使命」……小池 聖明 教化部長
- ・事務手続きについて……長嶋康雄 教化部事務局長